【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】令和3年10月7日(2021.10.7)

【公表番号】特表2020-536006(P2020-536006A)
【公表日】令和2年12月10日(2020.12.10)
【年通号数】公開・登録公報2020-050
【出願番号】特願2020-518476(P2020-518476)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｔ　17/00　　(2006.01)
Ｂ６０Ｔ　15/04　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｔ　17/00　　Ｂ
Ｂ６０Ｔ　15/04　　Ｂ
Ｂ６０Ｔ　17/00　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和3年8月25日(2021.8.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
車両空気ブレーキ充填システム用の放出物処理装置であって、
空気乾燥器のパージ弁からの放出物を受け入れ可能な流入ポートと、
流出ポートと、
前記流入ポートと前記流出ポートとの間を流体連通して接続する放出物流通チャンバを画定する二次曲面であって、放出物流が前記流入ポートから前記二次曲面に沿って前記流出ポートまで流れるときに、該放出物流から汚染物質を抽出するために設けられた前記二次曲面と、を備える、車両空気ブレーキ充填システム用の放出物処理装置。
【請求項２】
前記二次曲面は、反転された放物面、１枚のシート状の双曲面、２枚のシート状の双曲面、円錐面、楕円放物面、円錐台面、放物面、および円筒面から選択された１つの少なくとも一部分の湾曲表面を含む、請求項１記載の放出物処理装置。
【請求項３】
前記二次曲面の汚染物質抽出効率を高めるために、細密メッシュ、スポンジ、および合体媒体から選択された１つまたは複数が前記二次曲面に被覆または接着されている、請求項１記載の放出物処理装置。
【請求項４】
ろ物を収容するための、前記二次曲面の底端部に配置された分離溜めであって、抽出された汚染物質を該分離溜めから除去できるまでの間、該抽出された汚染物質を受け入れて保持するために設けられた前記分離溜めをさらに備える、請求項１記載の放出物処理装置。
【請求項５】
前記分離溜めは、底部パネルにドレン開口部を有する該底部パネルを含む、請求項４記載の放出物処理装置。
【請求項６】
前記分離溜めにスナップ固定でき、前記底部パネルの前記ドレン開口部を保護するバッ

フルシステムをさらに備える、請求項５記載の放出物処理装置。
【請求項７】
前記ろ物を収容する前記分離溜めは、該分離溜めをユニットとして取り外し、別の分離溜めと交換できるように、カートリッジとして取り外し可能である、請求項４記載の放出物処理装置。
【請求項８】
前記放出物流通チャンバ内に配置された一端部と、前記流出ポートに接続された反対側の端部とを有する直立管をさらに備え、前記直立管は、前記二次曲面の中心軸線と同心の長手方向中心軸線を有する、請求項１記載の放出物処理装置。
【請求項９】
前記放出物流通チャンバ内に配置された前記直立管の前記一端部の近くに配置され、前記直立管の前記長手方向中心軸線および前記二次曲面の前記中心軸線に沿って中心に置かれた渦誘導突起をさらに備える、請求項８記載の放出物処理装置。
【請求項１０】
前記放出物処理装置全体がプラスチック材料から成る、請求項１記載の放出物処理装置。
【請求項１１】
車両空気ブレーキ充填システム用の放出物処理装置であって、
空気乾燥器のパージ弁からの放出物を受け入れ可能な流入開口部と、
前記流入開口部よりも小さい流出開口部と、
前記流入開口部と前記流出開口部との間に延びる放出物流通チャンバを画定する表面であって、放出物流が前記流入開口部から前記表面に沿って前記流出開口部まで流れるときに、該放出物流から汚染物質を抽出するために設けられた前記表面と、を備える、車両空気ブレーキ充填システム用の放出物処理装置。
【請求項１２】
前記表面は、反転された放物面、１枚のシート状の双曲面、２枚のシート状の双曲面、円錐面、楕円放物面、円錐台面、および放物面から選択された１つの少なくとも一部分の湾曲表面を含む、請求項１１記載の放出物処理装置。
【請求項１３】
前記表面の汚染物質抽出効率を高めるために、細密メッシュ、スポンジ、および合体媒体から選択された１つまたは複数が前記表面に被覆または接着されている、請求項１１記載の放出物処理装置。
【請求項１４】
ろ物を収容するための、前記流出開口部の近くに配置された分離溜めであって、抽出された汚染物質を該分離溜めから除去できるまでの間、該抽出された汚染物質を受け入れて保持するために設けられた前記分離溜めをさらに備え、前記ろ物を収容する前記分離溜めは、該分離溜めをユニットとして取り外し、別の分離溜めと交換できるように、カートリッジとして取り外し可能である、請求項１１記載の放出物処理装置。
【請求項１５】
前記放出物処理装置全体は、プラスチック材料から成る、請求項１１記載の放出物処理装置。